

**特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」リハーサル大会**  
**兼 特別全国障害者スポーツ大会九州ブロック予選会**  
**バスケットボール競技実施要領**

## 1 競技規則

令和5年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（公益財団法人日本パラスポーツ協会制定）によるもののほか、この要領の定めるところによる。

## 2 チーム

- (1) チームの構成は、コーチ1名、アシスタント・コーチ1名、マネージャー1名及び選手12名以内とする。ここでいうコーチとは、ゲーム中実際にチームを指揮する者を指す。
- (2) コーチ、アシスタント・コーチ又はマネージャーが選手を兼ねる場合は、選手名簿に登録されていなければ選手として出場できない。この場合、選手の数は、選手を兼ねるコーチ、アシスタント・コーチ、マネージャーを含めて12名以内とする。
- (3) 男女別にチームを編成する。

## 3 競技方法

- (1) 試合は、鹿児島県チームを除く男女別トーナメント方式とし、3位決定戦を実施する。また、トーナメント戦以外に、鹿児島県チームを含む交流戦を実施する。
- (2) トーナメント戦のゲームは、10分のクォーターを4回行うものとし、第4クォーターが終わったときに得点が同点だった場合、1回5分間のオーバertimeを決着がつくまで必要な回数行う。第1クォーターと第2クォーターの間及び第3クォーターと第4クォーターの間、及び各オーバertimeの間にそれぞれ2分のインターバルをおく。第2クォーターと第3クォーターの間に10分のハーフ・タイムをおく。
- (3) 交流戦の試合時間は、10分のクォーターを2回行うものとし、第1クォーターと第2クォーターの間に2分のインターバルをおく。第2クォーターは、公益財団法人日本バスケットボール協会競技規則の第4クォーターのルールを適用する。ただし、第2クォーター終了時に同点の場合は勝敗を決しない。

## 4 服装等

- (1) 出場選手は、濃色と淡色（白色が望ましい）の2種類のユニフォーム（シャツ）を用意し、原則として組合せ番号の若いチームが淡色（白色が望ましい）のユニフォーム（シャツ）を着用すること。ただし、2試合目以降については、両チームの協議により、ユニフォームの色の濃淡を変更することができる。
- (2) 背番号は、0、00及び1から99までの番号を使用し、審判とスコアラーにはっきりと分かるように付けること。

## 5 試合球

試合球は、公益財団法人日本バスケットボール協会主催大会公式試合球とし、男子は7号球（モルテンB 7 G5000）、女子は6号球（モルテンB 6 G5000）とし、主催者が用意する。

## 6 組合せ

組合せは、令和5年2月に開催するプログラム編成会議において、主催者が関係者立会いの下に代理抽選を行い、決定する。

なお、前回大会で優勝したチームを第1シード、準優勝したチームを第2シードとする。

## 7 チーム・ベンチ

チーム・ベンチは、組合せ表の番号が若いチームをオフィシャル・テーブルに向かって右側とする。

## 8 開始式・表彰式

- (1) 開始式は、競技開始前に競技会場で行う。
- (2) 表彰式は、競技終了後に競技会場で行う。

## 9 出場権

この大会の優勝チームは、特別全国障害者スポーツ大会への出場権を得る。

## 10 その他

- (1) 開始式の前に監督会議を行う。なお、監督会議の時間及び場所については別途通知する。
- (2) 開始式、表彰式に参加する選手は、原則として、ユニフォーム又はジャージのいずれかをチームで統一し着用すること。
- (3) 競技場内には、チームベンチエリアに入る者のほか、主催者が認めた者以外は入ることができない。ただし、車いす使用者及びその介助者等は、指定された場所で観覧及び応援することができる。
- (4) 決められた席に、トレーナー1名を待機させることができる。なお、トレーナーは参加申込時に登録したものに限り、このトレーナーは、実際に施術ができるとし、障がい者スポーツトレーナーの有資格者であることが望ましい。
- (5) 会場内の秩序については、競技役員の手配に従うこと。
- (6) 練習は定められた場所で安全に留意し、主催者の指示に従って行うものとする。
- (7) 荒天時他不測の事態が生じた場合の取扱いは、主催者において決定する。
- (8) 参加者は、主催者が定めた新型コロナウイルス感染症対策に関するガイドラインを遵守すること。